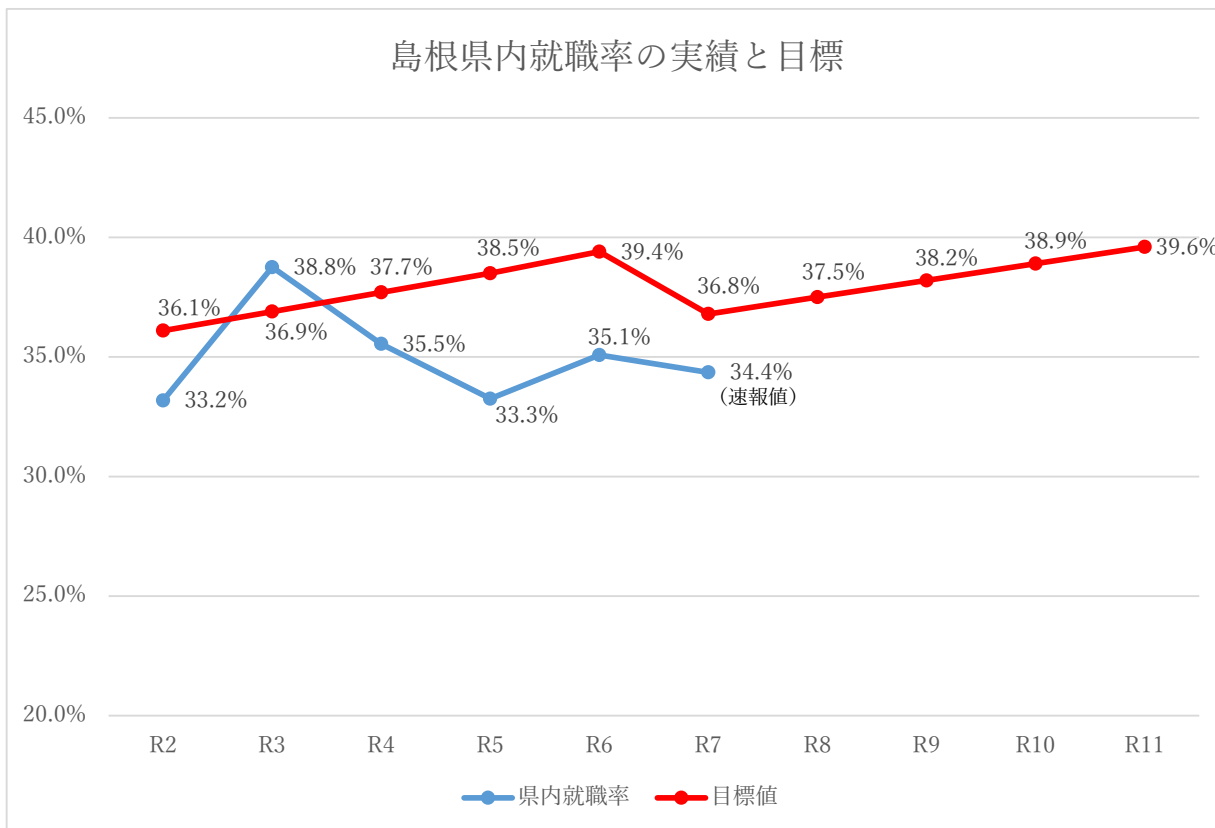


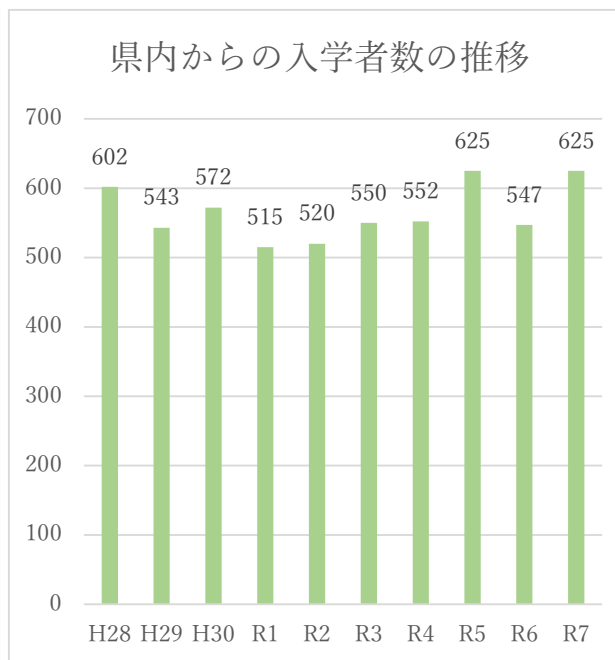
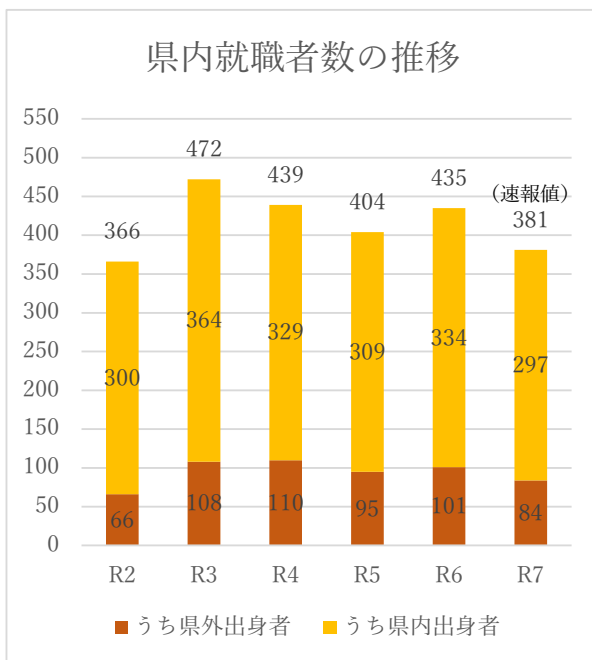
しまね産学官人材育成コンソーシアム

令和8年度事業計画書

■ K P I



<参考>



※島根大学、島根県立大学の合計

※R7 県内就職率・県内就職者数については、島大は12月25日時点、県大は1月31日時点の速報値

## ■ 事業計画（別紙）

令和8年度は、令和7年度事業の振り返りにて確認した改善・変更内容を踏まえ、引き続き令和7年度に取り組んだ事業をブラッシュアップし、個別事業の効果を最大限発揮できるように各事業主体が取り組む。

また、引き続き賛助団体の増加に向けて取り組むとともに、インターンシップの質の向上や令和7年度に実施したアンケートの分析結果を共有することを通じて、賛助団体の人材確保策の改善につながるよう取り組む。

## ■ 令和8年度予算案

### (1) 収入

(単位：千円)

項目	R8 予算額	R7 当初予算額	増減	内 訳
1) 負担金	40,003	39,236	767	島根県 24,726、島根大学 11,790、県立大学 1,997、経済団体・定住財団 490、島根県教育委員会 1,000
2) 賛助会費	2,710	2,670	40	10千円×271口 (193団体)
3) 出展料	5,500	5,000	500	出展料 50千円×110社
4) 前年度繰越金	7,544	5,008	2,536	
合 計	55,757	51,914	3,843	

### (2) 支出

(単位：千円)

項目	R8 予算額	R7 当初予算額	増減	内 訳
1) 事業費	31,490	27,677	3,813	
①教育プログラム実施費	8,000	6,000	2,000	委託費 (島根大学、県立大学)
②教育プログラム開発費	6,000	6,000	0	委託費 (島根大学、県立大学)
③しまね大交流会開催費	11,525	9,525	2,000	印刷費、委託費、使用料
④協働フォーラム運営費	1,911	1,644	267	人件費(非常勤)、運営費
⑤その他事業費	3,554	4,008	▲454	その他経費
⑥予備費	500	500	0	
2) 事務局費	24,267	24,237	30	委託費は①②のみ (島根大学)
①企画推進費	15,500	15,500	0	
ア) 事業推進コーディネーター配置費	11,300	11,300	0	人件費(常勤・非常勤)
イ) 企画プロデューサー配置費	4,200	4,200	0	人件費(常勤)
②管理運営費	8,267	8,237	30	
ア) 事務職員及び特定職員配置費	5,900	5,900	0	人件費(非常勤)
イ) その他経費	2,367	2,337	30	会議費、旅費、消耗品費、複写機借料、通信運搬費、光熱水料
③予備費	500	500	0	
合 計	55,757	51,914	3,843	

## ■ 参考

### 1. 参加団体

区分	参加団体名	区分	参加団体名
高等教育機関	島根大学	経済団体	島根県商工会議所連合会
	島根県立大学		島根県商工会連合会
その他団体	ふるさと島根定住財団		島根県中小企業団体中央会
行政機関	島根県		島根県経営者協会
	島根県教育委員会		島根経済同友会
			島根県中小企業家同友会

### 2. 賛助団体（規約第 11 条）

コンソーシアムの目的に賛同し、共同代表が承認した企業、NPO 団体等を賛助団体とすることができる。※会費は年間 1 口 1 万円とする。ただし口数の上限は設けない。

令和 7 年度は 193 団体が参画した。令和 8 年度は令和 7 年度の賛助団体に対し継続依頼を行うとともに、令和 8 年 4 月以降に新規会員の一次募集を開始する。

### 3. 執行機関

区分	設置機関	所掌事項
総会	運営協議会 (規約第 5 条)	コンソーシアムの意思決定機関として、規約の改廃、役員選出、事業計画及び予算、決算の承認等を行う。
委員会 (規約第 12 条)	企画運営委員会	コンソーシアムにおける各事業の全体調整と KPI の進捗管理を行いながら、事業計画及び予算の立案と事業評価を行う。
	しまね大交流会実行委員会	しまね大交流会の企画・実施を行う。
	インターンシップ等推進委員会	インターンシップ等の質の向上及びその成果の県内への波及に向け、関係機関で協議を行う。
	県内定着協働フォーラム委員会	賛助団体からの要望を踏まえた県内定着協働フォーラムの企画・運営を行う。
事務局	コンソーシアム事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携・調整のマネジメント、事業の企画・運営等を行う。</li> <li>・会議の運営、予算管理、連絡調整、情報発信等を行う。</li> </ul>

4. 事務局体制

○設置場所 島根大学

事業推進統括コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム事務局運営の統括</li> <li>・コンソーシアム事業全体のマネジメント及び進捗管理</li> </ul>
事業推進コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム事務局運営に係る参加団体との連絡調整</li> <li>・コンソーシアム各種事業実施に係る参加団体との連絡調整</li> <li>・事業計画書及び事業評価書の作成</li> <li>・運営協議会及び企画運営委員会の運営</li> <li>・県内就職率（K P I）及び各種事業の状況管理</li> <li>・賛助団体の募集及び賛助団体との連絡、調整</li> </ul>
企画プロデューサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内就職率（K P I）達成のため実施する事業（教育プログラムを含む）の企画</li> <li>・各種事業の検証、改善提案</li> <li>・コンソーシアム各種委員会への参画</li> <li>・しまね大交流会の企画</li> </ul>
協働教育コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職先県内企業の開拓</li> <li>・人材定着に関する企業ニーズの把握</li> <li>・企業、各高等教育機関と学生の連絡調整</li> </ul>
協働フォーラムコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材定着に関する企業ニーズの把握</li> <li>・県内定着協働フォーラム委員会への参画</li> <li>・県内定着協働フォーラムの企画及び実施</li> </ul>
事務職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議運営、情報発信、予算管理、執行、負担金等の収納など事務全般</li> <li>・賛助団体の登録、管理</li> </ul>

## 令和8年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業計画

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模
1 県内大学を知る (担当：島根県教育委員会、各高等教育機関)			
島根県教育委員会と県内大学の連携強化のための体制構築などにより、県内高校生が県内大学を知る取組を強化する。	i) 県立高校に高大連携を推進するための人材を配置する(島根県教育委員会実施事業)		
	○主幹教諭の配置	・授業改善や地域との協働に加え、高大連携や入試改革に適応した取組を推進するため、校内をリードできる職階の主幹教諭を全普通科高校に配置する。	県内普通科系高校21校へ各1名配置
	○高大連携推進員の配置	・県内大学への理解・関心を深める取組を行うため松江、出雲、浜田に各1名配置、島根大学理系学部との連携強化のため松江に高大連携推進員を1名配置する。 ・県内の高校生を対象とする、探究学習や進路を考える際に役立つ放課後・休日における講座等(「あなたの背中そっと押し出すプロジェクト」)を、高校や高校生のニーズを踏まえて、県内大学と協働して、高大連携推進員が企画・実施する。	県内大学への理解関心を深める取組 ・松江、出雲、浜田：各1名 島根大学理系大学との連携強化 ・松江：1名
	○専門高校への理数教科の教員の配置	・理数教科の正規教員を6校、常勤教員(期限付き)を7校に配置し、大学進学を目指す学力の育成により進路選択の幅を広げる機会の充実を図る。	理数教科の正規教員：6校 常勤教員(期限付き)：7校
	○「オンライン進路探究ゼミ」の実施	・県内大学の総合型選抜や学校推薦型選抜等への出願を検討している高校3年生を対象とした、進路探究プログラム「オンライン進路探究ゼミ」を高大連携推進員中心に企画・実施する。	開催時期：6月～8月 参加者想定：約400人
	○「しまね探究フェスタ」の実施	【目的】高校生が、探究学習の楽しさを知り学びに向かう意欲を喚起する。 学校や地域がともに探究学習のあり方を考え、各校の探究学習の質を高める機会とする。 探究学習を支える大学教員、大学生、高校教員等が、所属や立場を越えた対話・交流の機会とする。 【効果】大学教員や大学生からの専門性を活かした助言を得ることで、高校生が大学での学びの見通しを持つ。 【会場】島根大学	開催日：令和9年2月12日 参加者想定：約400人
	ii) 県内大学での、高大接続事業の実施	・高校生の大学進学への目的意識、意欲、動機付けを高める。 【大学訪問】高校生が大学を訪れ、大学の概要や学部による体験授業、施設見学を実施 【出張講義】大学教員が高校などへ出向き講義を行う。 ・県内大学のアドミッション部門などが島根県教育委員会と連携しながら高大接続事業を推進するための情報を共有する場を設ける。	実施時期(島根大学) 大学訪問：7月～9月 出張講義：7月～10月
	iii) 専門高校に向けたキャリアパスの提示	・専門高校から県内大学に入学した学生へのインタビュー動画の配信 専門高校から大学へ進学した際のアドバンテージや就職像などを専門高校の生徒に引き続き周知する。 ・入試広報の中での専門高校入試の説明強化 総合型選抜「へるん入試」の専門学校入試を引き続き周知する。	
	iv) その他の高大連携活動		
	○島根大学	・オープンキャンパスの開催：各学部や学科の紹介、模擬授業、入試相談などを実施する。 ・高大連携の取組：理系学部を中心とした県内高校生向けの体験型学習として研究室訪問の実施 県内高校のSSH事業に対して課題研究への助言・指導など	開催時期：(松江C) 令和8年8月4日～6日 予定人数：松江C、出雲C合わせておよそ2,600人
	○島根県立大学	・オープンキャンパスの開催：各学部、学科、コースの説明、模擬講義等を実施する。 ・高大連携の取組：探究学習の成果発表会等における講評等、県内高校の魅力化コンソーシアムへの参画 県内高校生向けの研究室の訪問受け入れ等 ・大学生と高校生の交流機会の確保：大学生活の様子や高校時代における進学取組等をテーマとした交流	オープンキャンパス 浜田C 7月実施 300人 出雲C 7月実施 420人 松江C 7月実施 500人 (短大：250人、学部：250人) 10月実施 20人(ミニ)

令和8年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業計画

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模
2 企業を広く知る (担当：島根県雇用政策課、各高等教育機関)			
(島根県実施事業) 雇用政策課と各高等教育機関が相互に連携を図り、低学年次(1～2年生)を対象とした企業見学バスツアーや学生×社会人交流会などを企画・実施することで、島根の企業を知る機会を広く提供する。	i) 島根大学との連携事業 ○企業見学バスツアー 執筆担当：島根県(雇用政策課)	①島根大学×島根県立大学新入生歓迎バスツアー(6月) ・島根大学及び島根県立大学松江C1年生を対象に、島根県の魅力と島根に対する興味関心を高めるためのバスツアーを実施する。 ②島根大学低学年向け企業見学バスツアー(7月～11月) ・1～2年生を対象に、島根県の観光地や企業を巡ることで、島根で働くことや暮らすことの魅力を体感してもらうためのバスツアーを実施する。	①参加企業数：2社程度 参加学生：30名程度 実施回数：1回 ②参加企業数：2社程度 参加学生：20名程度 実施回数：4回
	ii) 島根県立大学との連携事業 ○企業見学ツアー	・島根県の各地域の企業と観光地をセットで巡ることで、多様な人・くらし・仕事の魅力に直接出会い、地元企業の魅力や働くうえでのやりがい等を知るきっかけとする。	参加企業数：15社程度 参加学生：80名程度定員
	○学生×社会人交流会	学生と社会人の交流会(1～3年次)通年 ・島根県内で働く社会人(OB・OGや若手社員等)との交流を通して、地元企業の魅力や働くうえでのやりがい等を知るきっかけとする。	参加企業数：70社程度 参加学生：190名程度
(コンソーシアム実施事業)	○しまね大交流会	・県内高等教育機関の就活前の比較的低学年の学生や高校生を対象に、「しまねで暮らす」「しまねで働く」イメージの醸成につながる取組を実施する。授業での参加学生その他、自主的に参加する学生の増加を目指したイベント内容の魅力化を図る。 ・県教委や特定校と連携して県内高校の意向などを踏まえながら、「県内大学を知る」取組としての県内大学の学生による所属学部・学科の魅力紹介ブースを設定する。高校生にとって進路選択の参考となる機会の提供となるよう内容の魅力化を図る。 ・イベントの魅力化UPに必要な企画が実施できるよう予算額を増額する。  しまね大交流会 実施時期：令和8年11月7日(土) 場所：くにびきメッセ	来場者数(学生・生徒)：1,000人 出展数(企業)：110社 ※企業出展料：5万円/1ブース

令和8年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業計画

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模
<p>3 関心の高い企業を深く知る (担当：コンソーシアム、各高等教育機関)</p>			
<p>(コンソーシアム実施事業) 学生と企業が深く関われる機会をより多く創出することにより、学生の県内企業の理解促進を図る</p> <p>○企業と学生が直接関わる教育プログラムの実施</p> <p>○協働教育コーディネーターと連携し企業や学生、大学などの教職員の相互理解の促進を図る</p>	<p>i) 各高等教育機関の教育プログラムにおいて、企業と連携した授業などを実施する。</p> <p>○島根大学</p>	<p>キャリアデザインプログラム(=通称CDP) (1～4年次) 通年 ・島根大学で学ぶ高度で実践的な専門性を活かし、自身のキャリアをデザインする力を身につけるための教育プログラム。 ・「社会の変化に対応する能力」や「生涯にわたり学び続けるための基礎的・汎用的能力や教養」を身につける。</p> <p>地域人材育成コース(1～4年次) 通年 ・学部横断型の正課教育・準正課教育を行う教育コース。 ・地域関連科目を系統的に学ぶことで、地域の現状と課題を知り、学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得する。</p> <p>地域課題解決型プロジェクト(1～4年次) 通年 ・CDP及び地域人材育成コースに所属する学生が、地域の企業や団体と協働して地域の課題解決に取り組む地域密着型のプロジェクト。</p> <p>企業連携型授業(科目)(1～4年次) 通年 ・地域課題探求力、コーディネーション力、グローバル展開力などトランスボーダーな探求力を身に付けるプロジェクト型の教育プログラムや、観光に関して体験的な学習を通じ、地域と観光との関りを学ぶプログラム。</p> <p>県内企業等探求活動支援事業(公募により学部企画支援) 通年 ・学生のキャリア教育の一環として、島根県の企業等を深く知る機会を提供することを通して、県内企業、産業等に対する理解を深める活動を支援する。</p>	<p>参加企業数：20社程度 参加学生：150人程度</p> <p>参加企業数：10社程度 参加学生：300人程度</p> <p>参加企業数：20社程度 参加学生：100人程度</p> <p>参加企業数：10社程度 参加学生：30人程度</p> <p>参加企業数：30社程度 参加学生：310人程度</p>
	<p>○島根県立大学</p>	<p>共同研究事業(1～4年次) 通年 ・学生が共同研究等に関わることによって、学生の多様な地域志向の研究活動に参加し、島根県内の企業等への訪問や、より魅力あるものにするための企業等への提言、提案を行い、企業等を知る機会となり、学生のより深い企業等への理解促進につなげる。</p>	<p>参加企業数：120社程度 参加学生：400人程度</p>
		<p>長期実践型キャリア教育(1～4年次) 通年 ・県内企業や行政機関と協力して推進してきた「長期・事業創造型インターンシップ」を三省合意に基づき令和5年度より適用されたインターンシップの定義の明確化に合わせて「長期実践型キャリア教育」と改称し、主として2・3年次の学生を対象としたキャリア教育をキャンパス横断的に展開している。</p>	<p>参加企業数：7社程度 参加学生：40人程度</p>
	<p>ii) 協働教育コーディネーターの配置</p>		
	<p>○協働教育コーディネーターの配置</p>	<p>・島根大学、島根県立大学の企業連携授業、キャリア事業のサポート 2名(配置先 島大：1名、県大1名) ・就職先県内企業の開拓 ・企業訪問の際には県内大学での学びや取組を積極的に情報提供し、県内大学生などの採用促進を図る。 ・コンソ賛助団体の増加に向けた取組 ・学生と企業が直接かかわる教育プログラムの支援</p>	

令和8年度しまね産学官人材育成コンソーシアム事業計画

ステージ・概要	具体的な取組	概要	事業規模
4企業を選択する (担当：雇用政策課、ジョブカフェしまね)			
<p>(島根県実施事業)</p> <p>学生が県内企業を選択する機会の提供や動機付けに繋がるよう、インターンシップ、仕事体験（以下「インターンシップ等」という。）の質の向上や量の拡充を図るとともに、学生が企業を選択する直接的な機会となる合同企業説明会などを実施する。</p> <p>i) インターンシップ等 ・学生のニーズに対応したインターンシップ等を実施することで、県内企業を選択する機会を広く提供し、県内就職を促進する。 ・インターンシップ等の質の向上や量の拡充を図るため、引き続き企業向けセミナーやプログラムチェックシートの活用を通じて企業のインターンシップ等の推進を進めていく。 ・各高等教育機関は学生の県内でのインターンシップ等への参加が増えるよう、引き続きインターンシップ等の重要性、有効性を伝えていく。 ・各経済団体はインターンシップ等の質の向上に繋がるセミナー情報やプログラムチェックシートの活用、県の支援制度などを企業に周知宣伝する。</p> <p>ii) 就活期の取組 ・卒業前年度の10月から卒業年度の9月までを「就活期」と定義した上で、オンラインを活用した情報提供や対面での合同企業説明会などを企画・実施する。 ・各高等教育機関と島根県は就職活動開始の段階で開催されるキャリアガイダンスにおいて、これらのイベントなどがあることを学生に周知宣伝する。</p>	i) インターンシップ等		
	○しまね学生インターンシップ	・学生が将来の職業選択及び適性を見極めるとともに、県内企業への理解を深め県内就職を促進するため、県内企業が実施するインターンシップ（5日以上）の情報をジョブカフェしまねサイトに掲載し、学生への周知宣伝を行うことで県内企業でのインターンシップ実施を促す。（8月～9月）	申込企業数：100社程度 申込学生：150名程度
	○しまね短期仕事体験	・学生が県内の企業や仕事への理解を深め、県内企業で働く人の魅力を知ることで、県内企業を就職の選択肢としてもらうため、できるだけ多くの学生が仕事体験（3日以上）できるように申込学生と受入申込企業とのマッチングを行う。（8月～9月、2月～3月）	申込企業数：200社程度 申込学生：300名程度
	○しまね1 Day仕事体験	・学生が県内企業に関する理解を深めてもらうため、県内企業が実施する1 Day 仕事体験（1日程度）の情報をジョブカフェしまねサイトに掲載し、学生への周知宣伝を行うことで県内企業での仕事体験を促す。（8月～9月） ・ジョブカフェしまねサイト内に学生が直接企業のインターンシップ等へ申込ができる応募管理システムを構築し、10月以降、通年での運用を開始する。	申込企業数：150社程度 申込学生：200名程度
	○インターンシップ等説明会	・インターンシップ等就業体験の参加に興味があったり、参加や実習先の選択に迷っている学生にインターンシップ等への参加を促すため、新たに対面でのインターンシップフェアを開催し、プログラムの説明や企業担当者との交流の場を設ける。（6月）	参加企業数：50社程度 参加学生：100名程度 実施回数：1回
○インターンシップ等受入企業向け研修会	・県内企業の経営者や採用担当者等を対象に、インターンシップ等プログラムの改善等、採用力向上のための効果的な取組について学ぶセミナーを実施する。	参加企業数：100社程度 実施回数：3回	
	ii) 就活期の取組		
	○学生×社会人交流会 雇用政策課と島根大学との連携事業	①しまだいいんたーんしっぷフェア（6月） ・学生の職業選択の際に有効となるインターンシップ等への参加を推奨し、職種・業界研究や職業観の涵養を図るとともに、県内企業との交流により、県内就職を考える機会を創出する。 ②しまだいいんたーんしっぷフェア（10月） ・県内企業との接点と業界研究の場を提供することにより、県内企業への就職を促進する。	①参加企業数：18社程度 参加学生：100名程度 実施回数：1回 ②参加企業数：32社程度 参加学生：60名程度 実施回数：1回
	○学生×社会人交流会 雇用政策課と島根県立大学との連携事業	①【松江C】ミニ合同企業説明会（4月～6月） ・地元企業等の魅力や仕事のやりがい、島根で働くことの生きがいを学生に伝え、県内就職の促進を図る。 ②【松江C】しまね業界研究会in島根県立大学（12月） ・県内企業との接点と業界研究の場を提供することにより、県内企業への就職を促進する。	①実施回数：3回 参加企業：15社程度 参加学生：75名程度 ②実施回数：1回 参加企業：20社程度 参加学生：50名程度
	○企業の紹介動画配信 ジョブチャンネル	・県内にも魅力のある企業がたくさんあることを知ってもらうため、県内企業の紹介動画をジョブカフェしまねのサイトで公開する。（10月～）	配信企業数：200社程度
	○学生と企業の交流会 しまねジャンボ企業博	・県内企業に関する理解を深めてもらうため、多数の県内企業を集め、担当者が会社概要、仕事内容、過去の求人状況や業界の状況等を学生に説明する交流会を開催する。（12月）	参加企業数：170社程度 参加者：300名程度 実施回数：1回
	○合同企業説明会 しまね企業ガイダンス	・採用情報解禁の時期に学生の県内企業への就職活動を支援するため、多数の県内企業を集め、県内企業の概要、採用計画等の説明会を開催する。（3月）	参加企業数：200社程度 参加学生：300名程度 実施回数：1回
5 その他			
ステージを横断的に取組む内容	○県内定着協働フォーラムの実施	・賛助団体からの要望を踏まえた県内定着協働フォーラムを実施する。 ・有識者招聘等、経営者の参加を増やす企画を追加。	参加企業数：70社程度
	○協働フォーラムコーディネーターの配置	・人材定着に関する企業ニーズの把握 ・県内定着協働フォーラム委員会への参画 ・県内定着協働フォーラムの企画及び実施	
	○学生アンケートの実施	・就職活動に関する学生の意識変化を探るためのアンケートを実施する。	回答数：500程度
会議関係	①運営協議会【8月、3月】 ②企画運営委員会【7月、12月、2～3月】		①運営協議会…2回開催 ②企画運営委員会…3～4回程度開催